

2013年 第45回 春季大学一部リーグ戦

東京富士大学 準優勝（4勝1敗）

平成25年度、第45回春季大学一部リーグ戦は、東京女子体育大、東京富士大、日本体育大、早稲田大、国士舘大、東京学芸大の6校で開催された。昨年、東京都大学連盟初加盟の東京富士大学は、三部、二部リーグ戦で全勝優勝、最短で念願の一部リーグ昇格を決めた。今春から大学一部リーグ参戦を果たした。

4月28日、初戦は東京学芸大。不安を抱いての戦いは、初回からの猛攻で4点先取、2回以降も追加点で、本校は4回コールド勝ちで、幸先よいスタートであった。

第2戦の東京女子体育大戦は、初回に2点先取しながら、その裏、野手の凡ミス、投手の乱調で歯止めが利かず、東女体大打線の連打を浴び、攻守に圧倒され大量失点。屈辱の3回コールド負けを喫した。

5月3日、第3戦、日体大戦は、両チーム、チャンスを作りながら決定打が無く、無失点のままタイブレーカーに入った。8回表、日体大は無死2塁、バント失敗で無得点。その裏、東京富士大は、敬遠四球で無死1・2塁のチャンス。4番田口がライトに劇的なサヨナラホームの殊勲打。

5月4日、第4戦、早稲田大戦は、3回、早稲田大がレフト犠飛で先取点。しかし、6回東京富士大は、チャンスを作り、田口、黒澤の連打で2点を挙げ逆転勝ちをした。この勝利でリーグ戦3勝、4位以内が決まり、東京富士大は9月、大阪開催の第48回全日本大学選手権大会出場権を獲得した。

第5戦、国士舘大戦は、東京富士打線が活発に国士舘大の投手を攻め、3回までに麓の本塁打などで5点を先取した。後半になり、疲れの出た小林投手が国士舘打線に捕まり、4回は本塁打、6回は小林と救援の森崎投手が連打を浴び一挙6失点で逆転された。7回の東京富士打線は諦めず粘り、麓の満塁一掃の2塁打で再逆転し、最終回は新人の細井投手が国士舘打線を抑え、打撃戦を制した。

春季大学一部リーグ戦、東京富士大は、4勝1敗で東女体大に次いで、第2位入賞の健闘であった。

4月28日 第1戦 東京学芸大学 会場:東女体大グラウンド

東京富士大、初戦、長短 11 安打の猛攻。大会規定で 4 回コールド勝ち

	1	2	3	4	計
東京学芸	0	0	1	0	1
東京富士	4	9	1	X	14x

(富)P 小林、森崎-C 荻野

(学)P 天野

③田口(富)、黒澤(富)

第2戦 東京女子体育大学

	1	2	3	計
東京富士	2	0	0	2
東女体	4	9	5x	17x

(富)P 小林-C 荻野

(東)P 秋元-C 吉田

②山本(2本)(東)

5月3日 第3戦 日本体育大学 会場:早稲田大グラウンド

初のタイブレーカー。4番田口劇的なサヨナラ 3ランホームー

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
日体大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京富士	0	0	0	0	0	0	0	3x	3x

(富)P 小林-C 荻野

(日)P 三木、有馬-C 澤井

④田口(富)③岩見(日)

5月4日 第4戦 早稲田大学 会場:早稲田大グラウンド

6回田口、黒澤の殊勲打で逆転。小林、森崎の継投で逃げ切る

	1	2	3	4	5	6	7	計
早稲田	0	0	1	0	0	0	0	1
東京富士	0	0	0	0	0	2	X	2x

(富)P 小林、森崎、小林-C 荻野

(早)P 後藤、濱田-C 鬼澤

②柳(早)

第5戦 国士舘大学

麓、本塁打含む 3 安打、7 打点の活躍、新人・細井投手、好救援で初勝利

	1	2	3	4	5	6	7	計
東京富士	3	0	2	0	0	0	3	8
国士舘	0	0	0	1	0	6	0	7

(富)P 小林、森崎、細井-C 荻野

(国)P 吉田、大竹、吉田-C 伊藤、武藤

④麓(富)、伊藤(国)③岩崎(国)②麓(富)、田中(国)